

令和6年度 東京都立田無高等学校全日課程 学校経営計画(概要版)

**【教育目標】「教智・敬愛・剛健・自律」**  
 (1)個性と能力の伸長を図り、知性と創造力を育てる。(2)互いに人格を尊重し、思いやりと協力の精神を培う。(3)身体を鍛えるとともに、たくましく豊かな情操を養う。  
 (4)自ら正しく判断し、勇気と責任ある行動をする。

**【スクール・ミッション】**学力の向上と定着、応用力の育成と自ら学ぶ力の育成を目指す生徒のための学校として、部活動や学校行事等の様々な教育活動や、地域行事への協力、近隣の小学校、中学校、特別支援学校との交流を深めることを通して、グローバル社会に対応し、多様な人々とコミュニケーションが取れる人材を育成します。

**【グラデュエーション・ポリシー】**・高度な情報を管理する能力や自他を尊重し、社会に貢献しようとする意欲を有する人間の育成 ・常に変化し続ける社会における様々な状況の中で、的確に状況を判断し、未来を切り拓く能力を身に付け、グローバルな社会で活躍できる人間の育成

**【アドミッション・ポリシー】**  
 ・知性や能力を伸ばすために、授業に積極的に参加し、予習・復習など自主的な学習習慣のある生徒 ・大学進学等の進路実現のために、意欲的に学習に取り組む生徒  
 ・特別活動、部活動等に積極的に参加し、思いやりと協調の精神を培い、責任ある行動をする生徒 ・いろいろなことにチャレンジして、自らの力で可能性を切り拓いていく生徒

**【カリキュラム・ポリシー】**・人間尊重の精神に基づき、生徒一人一人のよさを認め、個性や能力を最大限に伸ばす。 ・知識基盤社会を生きる学力を育成するとともに、学校行事や部活動などにおける活発な教育活動を通して、「徳」「知」「体」の調和のとれた生きる基盤を培い、将来に向けてより高い目標を定めて進路を実現する。 ・親身でていねいな、個に応じた指導により、変化の激しい社会を生き抜く思考力・判断力・表現力や創造力等を育てる。 ・学校行事や部活動及び道德教育・「人間と社会」などを通して、生徒相互の理解と啓発を図り、社会の一員としての自覚と行動力、社会の発展に貢献しようとする意欲を高める。 ・開かれた学校として、学校、家庭、地域・社会が相互に連携・協力して、ともに生徒を育てる。

項目	1 学習指導	2 生活指導	3 特別活動	4 健康教育
課題	適切な教育課程編成及び指導と評価の一体化	規律と秩序の整った教育環境の創出	生徒の自尊感情向上及び不撓不屈の精神の涵養	安心して通える学校づくり
方策	ア 生徒のニーズに応じた教育課程の編成 イ 適正な評価規準の設定と周知 ウ 教科会を核とした学力分析と効果的な指導方法の検証 エ 校内外における研修の促進 オ 教科における探究活動の推進	ア 授業規律の確立 イ 生徒自身の時間管理能力向上 ウ 生徒指導に関する方針・意義の共通理解 エ 生徒によるルール順守の呼びかけ オ 相互尊重の精神の涵養	ア 生徒主体の学校行事や部活動等の推進 イ 生徒が協働する機会の提供 ウ 成果発表の機会の確保 エ 適度の負荷がかかるチャレンジ目標の設定 オ 結果のみならずプロセスを重視した適切な称賛	ア 心身の健康の維持 イ 生徒相談体制の確立 ウ 安全指導(交通安全教育や防災教育等)の徹底 エ 感染症防止対策の徹底 オ 校内環境整備及び美化活動の推進
キーワード 数値目標	評価規準の策定と周知 Excelファイル「授業改善ポートフォリオ」の配信 生徒による授業評価の実施 授業の自己分析(1・2学期末) 個人及び教科会での分析、授業改善の具体策施行 相互授業参観年3回/人 授業満足度75%以上 教職員研修センターや民間教育専門機関等での研修受講 「すべての生徒に必要な資質・能力を身に付けさせること」に重点を置いた授業への転換 教科横断型学習活動の推進	チャイムとともに授業開始・終了 不要物の持込、居眠り、私語の指導 時間前行動徹底、スケジュール管理 家庭学習時間1日平均60分以上 共通の方針でブレのない生徒指導 児童の権利条約に示された4原則を踏まえた生徒指導 必要に応じた校則の見直し リーダー層の生徒の自覚を促す指導 生徒の人権意識を高める取組 SNSの適切な使い方についての指導 人権教育プログラムを使った教職員の 人権意識向上のための研修実施 年間遅刻延べ回数5,000回以下	適度な助言、「誰が、いつ、何のために、どのように」行動するべきかを考える習慣 見通しをもった行動 日頃の活動の成果を披露できる機会の創出、モチベーションの向上 生徒の潜在能力見極め 努力目標へのチャレンジ 「不撓不屈」の精神の涵養 Sport-Science Promotion Club 文化・スポーツ等特別推薦実施部の 生徒を核とした活動の活性化 部活動加入率75%以上 学校満足度80%以上 「生徒が主体の学校」	支援が必要な生徒の早期発見 心身の状況についての自己理解 自ら健康をコントロール・改善 統一体力テスト平均得点前年度比男女共2ポイント以上向上 特別支援教育推進委員会の定例化(月1回) いじめの未然防止及び早期対応 自転車乗車時の安全運転及びヘルメット着用への意識向上 計画的な避難訓練及び防災訓練、防災講話等の実施 生徒の感染症拡大防止に係る意識の持続・維持 生徒によるゴミ分別の呼びかけ

項目	5 進路指導	6 広報活動	7 組織運営	8 働き方改革
課題	学力向上と個に応じた進路指導	学校の特徴・魅力の周知及び第一志望の受検生の増加	盤石な組織体制の構築	働きやすい職場づくり
方策	ア 総合的な探究の時間を始めた計画的なキャリア教育 イ 生徒の学力実態の把握とデータに基づくきめ細かな指導 ウ 多様な入試形態に対応する組織的指導体制の確立 エ 個々の知識・技能を伸張させる多様な講習の実施 オ 一人1台端末等を活用した個別最適な学習の実現	ア ホームページ及び学校紹介動画等の有効活用 イ 生徒主体の学校見学会・学校説明会等の運営 ウ 生徒が主役の活気あふれる学校づくり エ 都立学校の魅力向上に向けた実行プログラムの活用 オ 中学校及び私塾等への積極的な情報発信	ア 服務規律の徹底 イ 校務の整理と見える化 ウ 起案による適正文書管理 エ 都の教育施策を活かした組織的対応 オ 協働体制の構築と職責に応じた責任ある行動	ア 無理と無駄のない組織づくり イ 長時間労働の解消と適切な健康管理 ウ 教職員のモラルアップ エ 教職員相互のコミュニケーションの活性化 オ 様々な課題に関する相談環境の整備
キーワード 数値目標	クラウドサービスの諸機能活用 基礎・基本の確実な定着及び進路希望に応じた学習指導の実践 教科会や校内研修等でのデータ分析有識者を招聘した校内研修 進路指導部中心、アドバイザー業務の分担 ニーズに応じた講習45講座以上 実用英語技能検定準2級以上を対象とした受験対策講座の開講 公務員志望の生徒を対象とした講習(年10回) 外部専門機関から講師を招聘 生徒・保護者対象の説明会実施 教職員対象の校内研修も実施	ホームページ更新230回以上 学校紹介動画5本程度作成 広報誌年6回以上発行 生徒による学校紹介や学校案内 生徒が自主的・自律的に企画運営を行うことができるよう、的確に助言を、校内外におけるボランティア活動参加を推奨 ダイバーシティコース及びオリパラ シティコースへの参加 東京体験スクールの受入 説明会等参加者1,850名以上 中進対志願倍率1.30倍以上 推薦応募倍率を3.20倍以上 第一次募集応募倍率を1.53倍以上	悉皆の服務研修及び企画調整会議や職員会議、教職員への一斉メール 組織目標の設定、適切な進路管理 外部評価等も活用、中間総括と年間総括 電子起案の推奨、迅速で確実な 文書管理の徹底 スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの理解 基礎資料やフローチャート等の共有 校外研修成果の共有化 個に応じた丁寧なキャリアプラン作成の支援 OJT診断基準及び執務ガイドライン 意図的・計画的なOJTの実施	諸会議における目的、論点、所要時間等の明確化、内容精査 ペーパーレス化の推進 データの電子化・共有化、起案の電子化 個人別在校時間管理表の作成 産業医と連携し、業務縮減や心身の健康維持に対する具体策を助言 教職員の優れた教育実践の把握及びモチベーションの向上 他者の考えを傾聴する姿勢や自身の考えを適切に伝えるスキルの向上 日常業務や校内研修等におけるグループワークの推奨 窓口・担当者の明確化と周知